

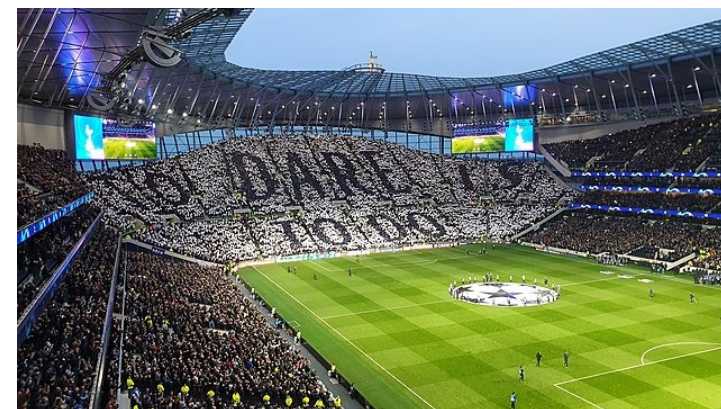
## 多様かつ欧州最高水準の設備を備えた最新のサッカースタジアム ITの導入や環境配慮でもイングランドプレミアリーグでトップレベル

### 施設及び事業の概要

所在地	イギリス ロンドン
開業年	2019年4月
収容人員	約62,000人
付帯施設	アメリカンフットボール用人工芝フィールド、 プレミアムスイート、プレミアムラウンジ、プレミアムシート、 The Dare Sky Walk（地上46.8mの屋根の上の通路）、 Tottenham Experience（欧州最大規模のグッズショップ） Beavertown Tottenham Taproom（クラフトビールを醸造 する世界初のスタジアム内ブルワリー）やThe Goal Line Bar （欧州最長65mのバー）など60以上の飲食店舗、 アーカイブ、ミュージアム
ホームチーム	Tottenham Hotspur FC（2021-22シーズン：England Premier League）
開発のスタイル	スタジアムだけの単独開発
資金調達概要	民設民営の施設。都合約10億ポンド（約1,450億円）と見 られる総工費はクラブが金融機関からの長期融資等で調達。
地域への効果	クラブの財団が周辺地域の住民等に対して奉仕活動を行って いる他、若年層の失業や犯罪といった課題に取り組むアウトリーチ 活動を展開。スタジアムの開設により、これまでに2,800人以上 の新規雇用を生み出してきた。

（出所） The Tottenham Hotspur Stadium “Welcome Home – Your Guide”, Tottenham Hotspur公式Webサイト (<https://www.tottenhamhotspur.com/>)

ゴール裏スタンドとフィールド



（出所） Bluejam, CC BY-SA 4.0 <<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/>>, via Wikimedia Commons ([https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Tottenham\\_Hotspur\\_Stadium\\_South\\_Stand.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Tottenham_Hotspur_Stadium_South_Stand.jpg))

スタジアム外観



（出所） Acabashi, CC BY-SA 4.0 <<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/>>, via Wikimedia Commons ([https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Tottenham\\_Hotspur\\_Stadium\\_during\\_Covid-19\\_pandemic\\_Haringey\\_London\\_England\\_1.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Tottenham_Hotspur_Stadium_during_Covid-19_pandemic_Haringey_London_England_1.jpg))

# Tottenham Hotspur Stadium <主な特徴>

## 最新の設備がもたらす多様な収益源

- VIPルームはスイートからラウンジ、プレミアムシートなどそれぞれに特徴のあるスペースを数多く設けて様々なニーズに対応。一般客向けにも、特色のあるグッズショップや飲食店舗を併設しており、他にはないホスピタリティを受けることができる。
- フィールドは、サッカー向けの天然芝の上部と、アメリカンフットボールやラグビーを開催できる人工芝の下部から成る2層構造であり、後者の開催時には上部をスタンドの下に格納する仕組み。サッカーより選手数が多いアメフト専用のロッカールームも設け、NFL国際シリーズを毎年2試合以上開催。
- また、地上46.8mの屋根からフィールドやロンドン市内を眺めるツアーや、屋根の端から懸垂下降するイベント「The Edge」など、建物の高さを活かした取り組みも実施。
- スタジアム建設費用にコロナ禍による収入減が重なり、クラブは20年6月期以降2年度連続の赤字となったものの、最新の設備を通じて幅広い客層にアピールできる施設。

## ITの活用

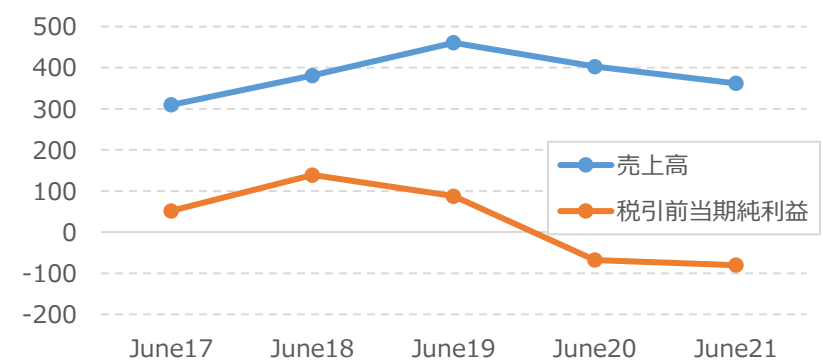
- ヒューレットパッカートのPOSシステムを導入して、英国のスタジアムとして初めて完全キャッシュレス化を実現。来場者はあらゆる支払いをスマートフォンの「The SPURS Official App」を通じて行うこととし、バッグ類の持ち込みを原則禁止とした。
- スタジアム内では無料の高速Wi-Fiを提供。アクセスポイントが1,600ヶ所あり、来場者の65%が同時にライブストリーミングを視聴可能。VIPエリアやコンコースにはビーコンが多数設置されており、近づくアプリにサービス等の情報が表示される。

## 環境への配慮

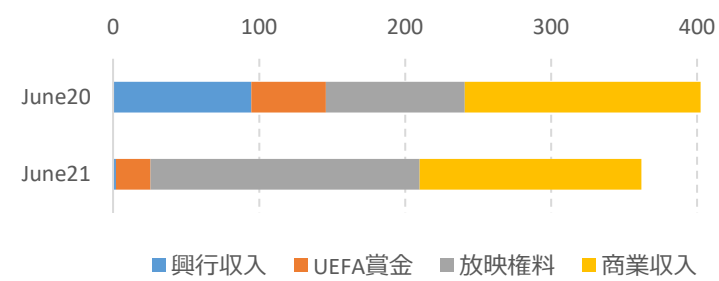
- スタジアム内では廃棄物の分別が徹底され、リサイクル可能な資源が回収される他、プラ製のストローや食器類は使用されていない。また、UN Sports for Climate Action Frameworkに参加し、2040年までのネットゼロカーボン達成を宣言。
- こうした活動の成果もあり、Sport Positive Leagueでは2020、21年と続けてプレミアリーグで最も環境に配慮したクラブに選出。

(出所) Tottenham Hotspur公式Webサイト (<https://www.tottenhamhotspur.com/>)、ヒューレットパッカート「Smart Stadiumがトottenham・ホットスパーのファン体験を、あらたなものに」、Sport Positive League公式Webサイト (<https://www.sportpositiveleagues.com/>)

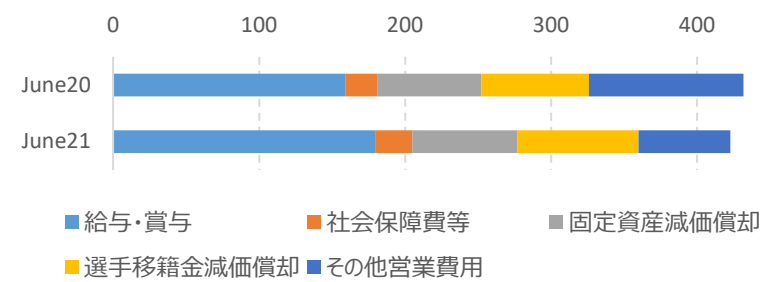
## クラブ収支の推移 (百万ポンド)



## 売上高の内訳 (百万ポンド)



## 営業費用の内訳 (百万ポンド)



(出所) Tottenham Hotspur Limited Annual Report and Consolidated Financial Statements 30 June 2021